



発達障害コミュニケーション上級指導者

龍 麻里 様

Q1 発達障害コミュニケーション初級指導者講習会に参加したきっかけは何ですか

子どもたちの躰きの背景と援助の考え方について、体系的に学びたいと思っていたところ、初級から順序だてて学べることを知り、職場の仲間たちと参加しました。

Q2 初級・中級と学ばれて、更に上級指導者資格を取得しようとした理由やモチベーションは何でしたか

子どもたちの未来に繋げていくためには、社会で適応していくスキルが必要だと感じていました。小学生を中心とした療育をおこなっているのが、幼児期で必要な基盤づくりはどのようなおこなうのか、就労ではどうなのかなど、わからないことが多くありました。理解を深めることで、子どもたちの変化をつくり出せると感じたからです。

Q3 上級講座の内容でいちばん印象に残っているものは何ですか

性教育です。切り替えができず、泣きわめき暴れる子どもたちに困っていたとき、見えないものを理解できない困難さは恐怖であることを知り、特別支援の中心に据えておくことだと教わったことです。

Q4 資格を仕事にどう生かしていますか

多方面から情報収集し、どうやったらできるようになるだろうかと観察し、学んだことをヒントにスタッフ間で話し合っ

ています。子どもたちが「できた!」と感じられる仕掛けづくりができるようになりました。チャレンジしたい、成長したいと思えるプラン作りに生かしています。

Q5 資格を取得したことで、仕事をする上で何か(どんな)変化がありましたか

学習のアセスメントに取り組みようになり、子どもたちに変化が起きました。その変化が愉しくて、また頑張ろうという思いになりました。スタッフみんなでその変化をつくり出しています。

初級受講時の職種…
児童発達支援管理責任者
現在の職種…
公認心理師、児童発達支援管理責任者

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

受講計画…計画を前半、後半に分けました。計画にゆとりをもって取り組めるよう、他の研修と重なる後半を減らし、前半に受講日をも多く入れるようにしました。

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

中級の講座で橘先生と出会い、持っている引き出し全部を教えてあげたいという

先生の熱意が感動でした。ワクワク満載であつという間に時間が過ぎました。すぐ実践したくなる講座ばかりでした。

Q8 資格を今後どんな人に取得してほしいですか

支援者は、目の前の子どもを見ているので、その時の関わりが将来、どのように影響していくのかを知っておくことで見方が変わると思います。子どもにも影響を与える職種の方に取得してほしいです。

Q9 これから学びたいことは何ですか

発達障害をもつ当事者と家族の関係に、困難を抱えている場合、理想の家族というものに辛くなっているような気がします。学校や地域との絆をどのように結びなおしたらよいのかについて考えたり学ぶ機会がほしいです。

Q10 上級指導者講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

幼児から就労まで、ひとりの人を思い描いて、その人の人生を通してみるようなイメージを持って参加しました。就労支援は、大人になってからでは間に合わないのです。幼少期、学齢期、思春期、青年期に関わる支援をする方に学んでいただけたら、子どもたちの未来が明るい方へと変化していくものと信じています。